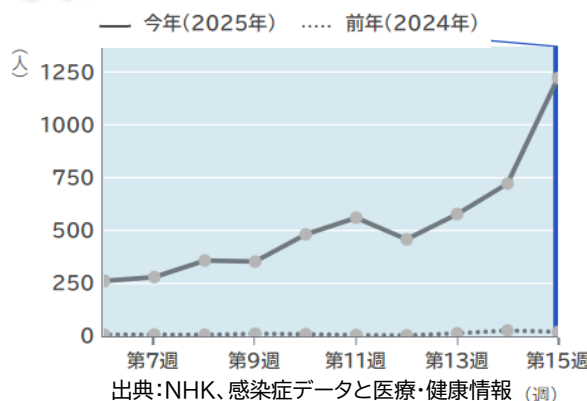


県北管内感染症ニュースレター

令和7年度 第1号

百日咳の患者数が増えています！

こどもを中心に感染する**百日咳**が、**全国で増加**しています。県北管内では大人の感染報告があり、幅広い年代で注意が必要です。



2025年
4月7日～4月13日

全国 **1222**

2024年
4月8日～4月14日

全国 21

前週比 **↑500**

百日咳ってどんな病気？

百日咳菌によって発症する**激しい咳**をとまなう病気で、**一歳以下の乳児、とくに生後6か月以下の子どもでは重症となり亡くなってしまうこともあります。**



治療方法 主治医の判断で**抗菌薬(生後6か月以上)**や症状に対する**咳止め薬等**を使用します。

感染経路 **咳やくしゃみ**による**飛沫感染**や、握手やだっこ等で直接触れる**接触感染**です。

予防と対策



まずは、手洗いやマスクの着用等の基本的な感染対策が重要です。乳児はワクチンの定期接種があり、重症化予防につながります。生後2か月から接種でき、全4回の接種が必要となるので、かかりつけ医に相談しながら進めましょう。

～百日咳のワクチン接種を予定している方・接種を担当する方へ～

2024年4月から四種混合とHibワクチンを混合した五種混合ワクチンが導入されました。2024年2月以降に生まれた赤ちゃんは原則として5種混合ワクチンを接種します。2024年3月までに四種混合ワクチンを接種している場合、5種混合ワクチンに変更しても間違い接種ではありませんが、原則、残りの必要回数も四種混合ワクチンを接種します。

出典: ワクチン.net

春の大型連休～輸入感染症にご注意を～

海外の感染症情報をチェックしよう

春の大型連休は、国内外に旅行をされる方がとても多い期間です。
また、近年はインバウンドの増加で多くの外国人が訪日しています。
そのため、日本人や外国人が海外で感染して日本国内に持ち込まれる
輸入感染症に注意が必要です。



海外へ旅行する場合は
感染症の流行状況や予防方法などを
チェックしましょう！

🔍 海外で健康に過ごすために
(FORTH)

帰国時・帰宅後に体調が悪くなったら…



帰国時

空港や港に設置されている**検疫所**では、渡航者の健康相談を行っています。
帰国時に発熱や咳、下痢などがある方や動物に咬まれた、蚊に刺されたなど**心配な
ことがありましたら、検疫所へご相談ください。**

帰宅後

感染症には、**感染してから発症するまでの期間が数日から1週間以上と長いもの**もあり、帰国後しばらくしてから具合が悪くなることがあります。

その場合は、**海外へ行ったことを医療機関に伝えた上で受診**しましょう。

また、不安なことがあれば、**県北保健所**にお問い合わせください。

～周りの人へ感染を広めないために～

仕事で多くの人と接する機会のある方(特に保健・医療・福祉職)は、高齢者等の
ハイリスク者に感染を拡大させないことが大切です。

自覚症状がある場合は、無理に出勤せず、医療機関を受診して検査を受ける等、
健康管理を心がけましょう。

～医療関係者の方へ～

海外や大阪・関西万博等に行かれた方から有症状の相談があった場合は、診察
前にまず保健所へご連絡ください。

<基本的な感染対策を心がけましょう！>



咳エチケット



マスク着用



手洗い



換気

出典：厚生労働省

発行日：令和7年4月28日

発行元：福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ：検索キーワード **県北保健所**